



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8938 URL https://www.glome-holdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理室 室長 (氏名) 涌井 弘行 TEL 03-5545-8101
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	393	△17.0	98	598.3	97	100.6	53	32.3
2022年3月期第1四半期	474	△70.7	14	△9.1	48	—	40	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 51百万円 (34.8%) 2022年3月期第1四半期 37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.89	5.89
2022年3月期第1四半期	4.45	4.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,809	7,681	85.8
2022年3月期	8,900	7,656	85.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,557百万円 2022年3月期 7,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,971	△20.2	192	△43.3	190	△45.1	165	△20.9	18.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	9,051,000株	2022年3月期	9,051,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	570株	2022年3月期	570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	9,050,430株	2022年3月期1Q	9,050,444株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は売上高393百万円(前年同四半期比17.0%減収)、営業利益98百万円(前年同四半期比598.3%増益)、経常利益は97百万円(前年同四半期比100.6%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円(前年同四半期比32.3%増益)となりました。

①医療関連事業セグメント

売上高324百万円(前年同四半期比10.6%減収)、営業利益184百万円(前年同四半期比233.0%増益)となりました。アライアンス先医療法人が保有する総病床数は6,159床(322床減少)となり、アライアンス先施設の内訳は無床診療所10施設、有床診療所10施設、病院(介護医療院を含む)35施設、介護老人保健施設12施設の計67施設となりました。

今年度は「アライアンス先医療機関が有する病床数の増加」は追わず、当社グループの事業の再点検・再構築に注力します。結果として、当第1四半期連結累計期間における新規のアライアンス獲得は有りません。

②不動産関連事業

売上高68百万円(前年同四半期比38.0%減収)、営業利益31百万円(前年同四半期比31.4%減益)となりました。事業撤退に向けた取り組みとして、合同会社PBT1が保有する三重県多気郡所在の商業施設を6月30日に売却しておりますが、同社の決算期の関係で売却処理の取り込みは第2四半期になります。また、販売用不動産としていた下記商業施設2件は固定資産に振替え、引き続き不動産の賃貸事業を行なっております。

- ・北海道釧路市所在の商業施設
- ・北海道留萌市所在の商業施設

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して1.0%減少し、8,809百万円となりました。主な要因は、現金及び預金832百万円等の増加があった一方で、長期貸付金835百万円等の減少があったことによります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比して9.3%減少し、1,127百万円となりました。主な要因は、未払法人税等104百万円等の減少があったこと等によります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比して0.3%増加し、7,681百万円となりました。主な要因は、新株予約権28百万円の増加があったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月27日付「2022年3月期決算短信」で発表した業績予想より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848	2,681
売掛金	99	76
営業貸付金	1,078	1,088
商品及び製品	7	7
販売用不動産	1,839	442
原材料及び貯蔵品	0	0
短期貸付金	236	236
1年内回収予定の長期貸付金	180	179
その他	478	257
貸倒引当金	△143	△115
流動資産合計	5,624	4,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86	768
土地	10	704
その他(純額)	25	24
有形固定資産合計	122	1,497
無形固定資産		
その他	7	7
無形固定資産合計	7	7
投資その他の資産		
投資有価証券	703	704
長期貸付金	2,487	1,651
繰延税金資産	25	-
敷金及び保証金	65	65
その他	322	487
貸倒引当金	△457	△457
投資その他の資産合計	3,145	2,451
固定資産合計	3,275	3,955
資産合計	8,900	8,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	310	303
未払法人税等	121	17
賞与引当金	52	12
債務返還引当金	90	90
その他	393	430
流動負債合計	968	854
固定負債		
資産除去債務	18	18
長期預り敷金保証金	255	253
その他	1	1
固定負債合計	275	273
負債合計	1,243	1,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,049	3,049
資本剰余金	3,012	3,012
利益剰余金	1,504	1,504
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,566	7,565
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5	△7
その他の包括利益累計額合計	△5	△7
新株予約権	97	126
非支配株主持分	△2	△2
純資産合計	7,656	7,681
負債純資産合計	8,900	8,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	474	393
売上原価	169	48
売上総利益	305	345
販売費及び一般管理費	290	246
営業利益	14	98
営業外収益		
受取利息	1	0
持分法による投資利益	50	3
その他	2	1
営業外収益合計	53	5
営業外費用		
支払利息	1	1
貸倒引当金繰入額	1	-
資金調達費用	13	-
その他	3	5
営業外費用合計	19	6
経常利益	48	97
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別調査費用	-	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	48	84
法人税等	7	31
四半期純利益	40	53
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	40	53

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	40	53
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1	-
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	△2	△2
四半期包括利益	37	51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	51
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書(2022年6月28日提出)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
業務受託収入	160	4	164	164	-	164
業務受託アップフロント収入	156	-	156	156	-	156
その他	46	2	48	48	-	48
顧客との契約から生じる収益	363	6	369	369	-	369
その他の収益	-	104	104	104	-	104
外部顧客への売上高	363	111	474	474	-	474
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	363	111	474	474	-	474
セグメント利益	55	45	101	101	△86	14

(注) 1 セグメント利益の調整額△86百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
業務受託収入	249	3	252	252	-	252
業務受託アップフロント収入	-	-	-	-	-	-
その他	75	1	76	76	-	76
顧客との契約から生じる収益	324	4	329	329	-	329
その他の収益	-	64	64	64	-	64
外部顧客への売上高	324	68	393	393	-	393
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	324	68	393	393	-	393
セグメント利益	184	31	215	215	△117	98

(注) 1 セグメント利益の調整額△117百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。